

遊休地で稼ごう大作戦！（その7）

「へそのごま村」構想 スタート！

井上敦夫

海抜九五〇mで
「開けゴマ！」

山梨県忍野村は富士五湖地域の中
にありながら湖を抱えていない村で、
観光財産は忍野八海という湧水地のみ
です。当地は村名の由来でもあります
が、忍草地区と内野地区とで構成され
ています。内野地区の原地域は農業振
興地域として展開し、八海を有する忍
草地区と違い、素朴な原風景を残して
います。

ここ最近の流れとして専業農業の高
齢化と減少、補助金も先細りの中で遊
休農地が増加しています。観光のため
のヒマワリ畑やコスモス畑が富士山の
借景と村主催の富士フォトグラフィー
の一環として展開されていますが、本
來の農業は先行きが危ぶまれている状
況にあります。

このような現状を打開するため、昨
今の市町村統合で危ぶまれる村の存続



富士山をバックにゴマの花

と、都会を中心に根付きつつあるロハス的な生き方・流れを結び付けようと考えました。本来肥沃な温暖地域で栽培されているアラビアンナイト（千夜一夜物語）の開けゴマを、海拔九五〇mの当地で栽培し、たくさんの人を呼び込もうという企画です。

富士山の湧水地を日本のへそと位置付けた「へそのごま村」構想。村内在

住の農業経験者で現在、比較的時間に余裕のある有志二〇名により「胡麻を作つてみよう会」を結成し、原地域の遊休農地四〇aを会で借り受け、栽培を始めました。

お力ネをかけずに肥料を調達

老舗の「ゴマ問屋」「和田萬商店」和田大象専務に、国内産の有機無農薬ゴマ

は市場性が高いことを聞き、企画の段階から相談に乗つていきました。専務による「収穫後の買い付けを保証しましよう」という心強い支援（一kg当たり二〇〇〇円）や作付け情報の提供が追い風となりました。

会員の養鶏家から鶏糞を、乗馬クラブから馬糞を、国産大豆にこだわって富士湧水を用いる豆腐屋さんからオカラを、村が提唱しているEMボカシを提供いただくなど、お力ネをかけずに肥料を調達しました。そして昨年四月下旬、試行錯誤しながらの一年目が始まりました。

金ゴマの種子は三河安城産と茨城産に加え、二年前から村内の農家が栽培していた忍野産の三種。畑は苦土石灰二〇〇kgでpHを六・〇に整え、元肥は一〇a当たり成分でチツソハ～一二kg、リン酸一〇kg、カリハ～一〇kg。当地の海拔では当然ながらビニールマルチを敷設し、三～五粒の直播きとボ



ふるいにかけた金ゴマ

ソト植えの両方で栽培。
直播きでは発芽から一週間、ゴマの苗が雑草に負けないように除草します（休耕していた畑だったため、放つておくと完全に雑草に喰われてしまう）。ゴマの発芽は順調でしたが、アカザの発芽と見分けがつきにくい。ポット植えでは一〇a当たり約七〇〇〇六分の移植。思い返せば、これらは大変な作

業でした。

収量は目標の一〇分の一以下

いました。

収量は一〇a当たり一〇kgにも届かず、予想外の結果となってしまいまし。目標にしていた茨城県での収量目標にして一〇〇kgに遠く及ばず。しかし、得られたデータは大変貴重なものでした。今後のゴマ栽培で改善すべき問題点は一年目にほとんど出尽くしたといつてもよいと思います。



ゴマの収穫は脱粒しないよう手作業で行ない、ハウスで天日乾燥



会で開発したゴマのパン

種子の選定 背があまり伸びず、実つきがよく、病氣にも強かつた茨城県産の確保。

播種時期の吟味 台風時期からの逆算と高地という気象条件を考慮し、五月下旬～六月上旬に遅らせる。

ネキリムシ対策 苗の三割を切られてしまつた。石灰チツソの施用で畑をアルカリ化する。

間引き不要 茎を一本のみ残すようにしたが、必要なかつた。この失敗だけがでかえつて収量が三分の一になつたといつてもよい。

病害対策 木酢液だけでは、あまり

効果が見られなかつた。今のところ打つ手なし。無農薬栽培では天候に頼るしかない。

会ではゴマを使ったパン・シフォンケーキ・ホワイトチョコレートなどを試作するほか、テーマソングも作ってCD・DVDに収めました。あと二年で産業化できるよう栽培技術を確立し、地域活性化の原動力にしたいと考えております。
(山梨県忍野村「胡麻を作つてみよう会」企画宣伝担当)